

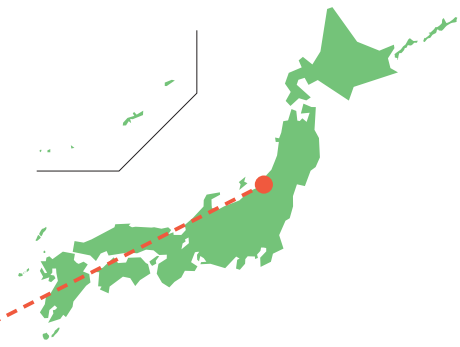
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

たಿನない
胎内市 (新潟県)



令和
4年
(2022年)



現在の黒川橋。昭和30年にコンクリートの永久橋に



胎内市役所生涯学習課
文化・文化財係
いとう たかし
伊東 崇さん

昭和初期の黒川橋の移り変わり

黒川橋は、江戸時代に胎内川を渡る街道の橋として、明治・大正時代には市場の
おうらい往来や通学用の橋としてにぎわいました。しかし、大雨になると頻繁に橋の一部が
ひんぱん流出したことから、昭和17年に大型車が通行できる丈夫な木橋に架け替え、その
後人々は安心・安全に渡れるようになります。戦後の昭和30年には、現在のコンク
リート永久橋として生まれ変わり、地域の発展と人々の安全を今も見守り続けて
います。



昭和
17年
(1942年)

昭和17年当時の黒川橋。胎内市の名所として当時絵はがきにも